

## 「国際会議に出席する若者に対するコーチング」

(ICB特別講座) 2012年4月19日@慶応義塾大学



国際人材創出支援センター(ICB)は、「国際会議に出席する若者に対するコーチング」という新たな活動分野を開始しました。

具体的に、今般、**G8&G20 Youth Summits Japan (G8&G20YSJ)**という非営利学生有志団体との勉強会を開催しました。この団体は、年に一度開催されるG8首脳会議をモデルとして各国の学生同士で開催される「G8 & G20 Youth Summits」への日本代表団を派遣することを目的として2008年12月に設立されています

(<http://www.g8ysjapan.org> 参照)。本年6月初めにワシントンで開催される予定の2012年会議に派遣される我が国代表

団は昨年12月に結成され、現在、本番をめざし鋭意勉強を重ねているところです。

同代表団より、ICB顧問である慶應義塾大学大学院の柏木茂雄教授に対して、ワシントン会議に向けてのコーチングの依頼があったことを受け、**4月19日(木)午後**、慶應義塾大学三田キャンパスにおいて、ICBの松平暲和理事長および柏木顧問が出席し、代表団5名との勉強会が約2時間半にわたって開催されました。

前半、松平理事長からICBの活動目的やこれまでの活動実績などについて説明した後、一般論として、国際会議出席前に準備しておくべき事項、会議で有効な発言をするための留意事項、会議で成功するためのコツなどについての説明がありました。また、国際会議でよく使われる英語の使用例などの実践的な解説もありました。

後半、柏木顧問から具体的にワシントン会議を念頭に置き、IMF改革や金融規制改革などG8/G20財務大臣会合で議論されそうな話題の解説、予想される議論展開、日本代表としての存在感を示すコツなどについて分かりやすい解説が行われました。

勉強会終了後、代表団側から、「間近に迎った会議を控え大変な刺激を受け、非常に貴重な経験となった」という感想が寄せられ、「日本の強みを生かした説得力のある発言ができるように努力したい」という頼もしい決意表明もありました。

なお、ICBでは去る1月にも早稲田大学において日本後援国連(<http://imun.org> 参照)に対してもコーチングを行いました。

ICBとしては、このように慣れない国際会議に対して不安を抱えながら準備を進めている方々に対するコーチングも、今後の重要な活動の一つにしていきたいと思っています。ご関心のある向きは、ぜひご連絡ください。

連絡先: [info@npcicb.org](mailto:info@npcicb.org)